

## 寅さん歩 その 26

### 東京の主要道路の起点～終点

#### 日比谷通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」と歩いてきました。

今回は「日比谷通り」を歩きます。日比谷通りは千代田区大手町の神田橋交差点を起点に、港区芝五丁目交差点で第一京浜と合流するまでの延長約5kmの道です。写真上右は起点時の道路名標識（都道403号線）で大手門交差点からは国道1号線に、日比谷交差点からは都道409号線に変わります。

旧江戸城（現在の皇居）を右手に見て、大手町・丸の内の日本を代表するビジネス街を通り抜けます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[神田橋交差点]** 千代田区大手町一丁目

最寄駅 東京メトロ日比谷線 大手町駅

神田橋交差点（写真下左）が日比谷通りの起点で、大手町・芝公園方面（写真下右）へ向かいます。反対側は本郷通りの起点で湯島方面へ向かいます。神田橋とは日本橋川にかかる橋名で、その名は神田明神に由来します。神田明神は江戸城の増築で外神田に移転、跡に神田御門が設けられました。神田御門から上野広小路を経て、寛永寺に通じる道は将軍の寛永寺参詣の「御成道」でした。



写真下左は「神田橋」です。神田橋を渡り、右側は大手町合同庁舎 3 号館の新型コロナワクチン自衛隊東京大規模接種会場（写真下右）があります。



## 【大手町読売新聞社前交差点】 千代田区大手町一丁目

最寄駅 東京メトロ半蔵門線 大手町駅

この交差点は大手町一丁目交差点の次の交差点（写真下左）で、左角はお正月の箱根駅伝のスタート・ゴールになる読売新聞社前（写真下右）です。



交差点を右へ行くとビルの上に「将門塚」（写真下左）があります。  
平将門は下総や常陸（現在の千葉県・茨城県）で兵を起こし、939年（天慶2年）には京都の天皇に対して坂東（現在の関東地方）で新皇と名乗った人物です。



翌年には藤原秀郷率いる討伐軍により鎮圧されました。京都でさらされた首が坂東を目指し、宙を飛び、この地に落ちたとか、神田付近に落ちて怪光を放ったとか、怨霊を鎮めるために塚が建てられたなどの伝説がある塚です。おそらく縁ある人が首をこっそり持ち帰って埋めたということなのでしょう。

この塚が「たたる」といわれるようになったのは関東大震災の後、この一帯は大蔵省となりましたが、塚が倒壊後、庁舎内で病人やけが人が続いたこと、第二次大戦後GHQが整地しようと工事中に事故が起こったことで「塚」は保存されることになりました。現在でも塚には花や線香が絶えません。

寅さん歩 58 健康ご利益めぐりー20 千代田区 こぼれ話をご覧ください。

## [大手門交差点] 千代田区大手町一丁目

最寄駅 都営地下鉄三田線 大手町駅

日比谷通りへ戻り、大手門交差点（写真下右）で永代通りと交差します。永代通りの起点は交差点右奥の内堀通りの大手門交差点が起点です。直進する日比谷通りはここから国道1号線になります。



交差点左角に「日本歯科大学発祥之地」の碑があります。寅さん歩 429 東京の発祥之地めぐり（学問・文化7）をご覧ください。

歩き方の原則は進行方向の左側を歩きますが、今回は右側が江戸城のお濠なので、行ったり来たり、忙しいです。



## 〔和田倉門跡〕 千代田区丸の内一丁目

最寄駅 都営地下鉄三田線 大手町駅

和田倉門橋に向かう交差点（写真下左）左角には東京銀行集会所（東京銀行協会ビルディング）（写真下右）がありました。説明板によると「1916年（大正5年）竣工のネオ・ルネッサンス・スタイルの建築（地下1階、地上3階、レンガ造）で1993年（平成5年）外壁と内装の一部を保存し、建替えて東京銀行協会ビルディングになった」と記載。



和田倉濠にかかる和田倉橋（写真下左右）を渡ります。



橋の右側はパレスホテル（写真下左）、振り返ると東京銀行協会ビルディング（写真下右）が見えます。



その先が和田倉門跡（写真下左）で説明板には1871年（明治4年）の写真（写真下右）と1602年（慶長7年）頃、門内には「一の蔵」があり、この門が「蔵の御門」と呼ばれたのが門名の由来です。門の建築は仙台藩主伊達政宗などにより行われ、熊本藩主加藤忠広により改修と記載されています。



奥は「和田倉門噴水公園」（写真下左）です。現在の上皇のご結婚記念で造られた大噴水を今上天皇の結婚で1994年（平成6年）に改装された公園です。



## 〔和田倉門交差点〕 千代田区丸の内二丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 二重橋駅

和田倉門交差点（写真下左）で行幸通り（都道404号線）と交差します。左は東京オリンピック2020のマラソンゴールになり、正面は東京駅中央口です。





## [馬場先門交差点] 千代田区丸の内二丁目

最寄駅 東京メトロ千代田線 二重橋駅

馬場先濠（写真下左）に沿って歩くと左側に「明治生命館」（写真下右）があります。戦後 11 年間GHQに接収され、極東空軍司令部となった建物です。1997 年（平成 9 年）国の重要文化財に指定され、現在は一部公開されています（無料）。



馬場先門交差点（写真下左）で都道 406 号線と交差します。左へ行くと鍛冶橋方面、右へ行くと皇居外苑を通り、皇居二重橋方面です。日比谷通りは直進ですが、交差点を右折（写真下右）して皇居外苑に立ち寄ります。



## [皇居外苑] 千代田区皇居外苑 最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅

和田倉門から馬場先門一帯が皇居外苑です。説明板には「江戸城の総構は徳川家康、秀忠、家光の三代で完成した。江戸城は明治維新で皇居になり、1949 年（昭和 24 年）西の丸下及び皇居を取り巻くお濠の地域が「国民公園皇居外苑」

として一般に開放され、1869年（昭和44年）からは北の丸地域が加えられ広く国民に親しまれている。昭和38年には特別史跡に指定された」と記載。芝生と手入れされた松（写真下左）、「楠木正成像」（写真下右）もあります。



日比谷通りに戻る際に日比谷濠越しに国際ビルディング（ビル内の右側が帝劇ビル）が見えます（写真下左）。写真下右は帝劇の入口です。国際ビルディングの建て替え計画（2025年頃）が発表されましたので帝劇ビルも変わる予定です。



## [日比谷交差点] 千代田区日比谷公園

最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅





日比谷交差点（写真上右）で晴海通りと交差します。左は都道 304 号線で銀座方面、右は国道 1 号線で桜田門・五反田方面です。日比谷通りは都道 409 号線になり、直進して芝公園方面へ向かいます。東京都が定めた通称（〇〇通り）の道路名は変わりませんが、道路法上の道路名（〇〇号線）は変更されます。

## [日比谷公園・日比谷見附門跡] 千代田区日比谷公園

最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅

日比谷交差点を渡り、右側の「日比谷公園」（写真下左）に立ち寄ります。日比谷の地名の由来は「ヒビがある谷津」ということらしい。ヒビは海苔ヒビで知られるように、浅い海に竿などを立てた状態のことで谷津は入江のこと。海だった日比谷辺りを徳川家康が埋め立て、江戸の町の基礎を造りました。江戸城日比谷見附門や大名屋敷があり、明治に入ると陸軍練兵場になりました。その後、政府の欧風化政策に伴い、日本で初めての西洋式公園として 1903 年（明治 36 年）に開園しました。



写真上右はお濠を残し、日本庭園の伝統的な手法の「心字池」です。



日比谷見附門（写真上左）は現在の日比谷交差点付近にありましたが、1873 年（明治 6 年）に撤去されました。



心字池沿いにある石垣（写真上右）は日比谷門と山下門の間にあった土手の名残です。心字池の右はこの石垣を構築した仙台藩祖 伊達政宗の江戸屋敷で、「伊達正宗終焉の地」の案内板がありました。

寅さん歩 189 東京にこんなところ-19 日比谷公園をご覧ください。

日比谷通りの右側ばかりを歩いていたら、2018年（平成30年）3月オープンした複合商業ビルの「東京日比谷ミッドタウン」（写真下左）を通り過ぎました。写真下右は「日比谷公園の日比谷門」です。



## [帝国ホテル・鹿鳴館跡]

千代田区内幸町一丁目

最寄駅 都営地下鉄三田線 日比谷駅



日比谷通りの左側を歩きます。1890年（明治23年）11月開業の「帝国ホテル」は日本を代表する高級ホテルです。現在のインペリアルタワー（写真上左）は2016年（平成27年）にリノベーションしました。

写真上右は帝国ホテルの隣のビルの塀の目立たない場所にある「鹿鳴館跡」の案内板です。

鹿鳴館は幕末に交わされた不平等条約改正の一助にするべく 1883 年（明治 16 年）建造されたレンガ造り 2 階建の西洋館で、皇族・華族や政府高官らが欧米の外交官や商人を招き、連日のように舞踏会や園遊会を催しました。しかし外交上の成果は上げられず、わずか 4 年間の鹿鳴館時代でした。歴史的な建物は華族会館として使用されましたが、太平洋戦争直前には「ぜいたくは敵」と解体されました。案内板には「ここはもと薩摩の装束屋敷があってその黒門は戦前国宝であった。その中に明治 16 年鹿鳴館が建てられ、いわゆる鹿鳴館時代の発祥の地となった」と記載されています。

寅さん歩 189 東京にこんなところ-19の鹿鳴館跡・内幸町界限をご覧ください。

今回はここまでとします。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里（約 2400 km の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2022 年 11 月 22 日清川（現在の山形県庄内町清川）手前 6 km（江戸深川から 994 km）に到着しました。芭蕉はこの後、元合海という所から舟で最上川を下り、清川に上陸、羽黒に向かい、羽黒三山（羽黒山・月山・湯殿山）の巡礼を行います。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWA の HP 「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝